

おたがいを思いやる気持ちで導いた結論

佐倉へゆうゆうの里 榎 陽様(87歳)・なほみ様(69才) 平成28年入居時夫婦入居

夫を見送るのは私の責任

奥様 うちはすぐく年が離れているのです。実は夫は18歳年上。彼を見送るのは私の務めだと思っていました。ですから自分はこういうところに入ると決めていました。ところが彼も「検討しようかと。」

ご主人 私が倒れたら付ききりになつてしまう。今まで通りの生活

ができなくなるのは気の毒ですから、こういうところに一緒に入つた方がよいのではないかと、自分なりの決心をしました。湯河原、伊豆高原や他の施設を比較してみ

て、「ゆうゆうの里」が良いことはわかったのですが、最後に佐倉を見て自宅に近いところが良いと思えました。

奥様 私は神奈川県出身なので、終の棲家が佐倉というイメージはなかったのですが、来てみて環境も何もかも気に入りました。

長年共に登った山男・山ガール

奥様 二人で、ずーっと山登りをしてきました。

ご主人 流石に80歳を過ぎたらハードな山登りはできなくなりましたね。

奥様 でも、彼も70代後半までヒマラヤの5000m級に行っていました。ですから二人で行かなくなつたのは本当に最近なのです。

ご主人 登山は10代からの付き合い合いです。山スキーもやっていました。

今でもゲレンデスキーなら二人で行きます。

奥様 彼は山男なので料理もできません。共働

きで私の帰宅時間が遅くなるので、肉じゃがや餃子など作つてくれました。今も作つてくれます。

ここに

ここにいるから叶ったキリマンジャロ登頂の旅

奥様 ここに入つてよかつたことは、夫を置いて山に行けることです。スタッフの方もさりげなく見守つて下さるし、友人もいるので安心して行けます。長年の夢が叶って昨年暮にはキリマンジャロ登頂を果たすことができました。11日間の旅、10人のパーティでし

た。流石に自分だけ行くのは気がひけましたが、赤道直下の氷河を見てみたいと思つたのです。登山歴50年の節目にもなりました。

ご主人 おいていかれる立場としては正直羨ましいが、それを口に出してはいけません(笑)。

近くにお話相手ができる楽しみ

奥様 自分の行く末を心配しないで済むし、何より環境がいい。

ご主人 私は何より自室から富士山が見えることが感激です。畑も楽しみの一つ、これからはトマト、インゲンなど夏野菜の栽培を計画しています。

奥様 一戸建ての家では近隣に知り合いができなかった。ここではジムとか、いろいろなところで知り合いができます。

ご主人 同じ時間に風呂に入る顔なじみが仲良くなり、他の時間にも話をしようと、「ゆうタイム(風呂の会)」を立ち上げました。話の内容は後から想い返してみると、たわいもないことが多いね。でも楽しいです。先日ある方が私も会に入れて欲しいというので、「まず風呂にこないダメだ(笑)」と。裸の付き合いからということですね。



北岳山頂にて 2005. 8.27 ~ 29